



全国農業協同組合中央会会長賞

「お楽しみバラエティおにぎり」

岩手県奥州市立大田代小学校三年

石川 龍之介

ぼくの家では、いねかりの時、お昼を田んぼで食べます。お母さんの作るおにぎりの中みは、七色です。梅ぼし、こんぶ、たらこ、すじこ、おかか、さけ、べんけいのほろほろづけ。おにぎりたちは、重ばこの中に、同じかつこうでならんでいます。

七月五日、ぼくは、家族と、近くの川に、ホタルを見に出かけました。

夕方は、一ぴきもとんでいませんでした。

「八時になると、とぶよ。」

ばあちゃんが言いました。あたりはだんだん暗くなつてきました。八時。道路の両がわの草むらから、わあつと光がとびあがりました。

「うわあきれい。うわあきれい。」

大きな声をはり上げてしましました。ホタルは、ぼくのほつぱにとまつたり、ばあちゃんのむねにとまつたりしました。じいちゃんが、

「こんなにホタルがいるのは、のう薬を少ししかかけないで、

米作りをしているからだよ。今年もおいしいお米がとれるぞ。」

と言いました。

いっぱいのホタルを見ながら、きょ年のいねかりの「お楽しみバラエティおにぎりの当てっこ。」を思い出しました。田んぼで食べるおにぎりは、さいこうの味です。今年も早くねかりがくればいいなあと思いました。